

令和2年度第1回古賀市健康づくり推進協議会議事録（要旨）

1. 開催日 書面会議（意見提出日 令和2年6月26日）

2. 会議概要

1. 報告事項

- (1)ヘルスアップぷらんの進捗状況について
- (2)特定健診・がん検診の受診状況について
- (3)自殺対策計画の進捗状況について

2. 協議事項

- (1)健康チャレンジ10か条の若い世代や男性に向け、認知、実践度を向上させる取組について

3. 議事概要

①ヘルスアップぷらんの進捗状況について

- ・ヘルスアップぷらん（古賀市健康増進計画（第二次））及び古賀市食育推進計画について（資料1）
- ・食育推進計画の推進状況について（資料2）
- ・「古賀市健康チャレンジ10か条の推進」について（資料3-1）
- ・健康チャレンジ10か条チラシ（資料3-2）
- ・「健康チャレンジ10か条」アンケート（資料3-3）
- ・健康チャレンジ10か条アンケート結果（H31年度）【認知度】（資料3-4）
- ・健康チャレンジ10か条アンケート結果（H31年度）【実践度】（資料3-5）
- ・健康チャレンジ10か条推進委員会 啓発活動状況調査まとめ（H31年度）（資料3-6）
- ・《ご意見提出用紙》（健康チャレンジ10か条に関する取組について）（資料3-7）
- ・人材育成について（健康づくり推進員・食生活改善推進員）（資料4-1）
- ・健康づくり等関連サポーター数（資料4-2）
- ・（広報こが）さあ！始めよう。健康づくり講座 サポーター養成講座（資料4-3）
- ・ヘルス・ステーションについて（資料5-1）
- ・ヘルス・ステーション活動及び設置状況（資料5-2）
- ・（広報こが）ヘルス・ステーション（舞の里2区）の活動紹介（資料5-3）
- ・健康づくり啓発事業について（資料6-1）
- ・健康づくり啓発事業の実施状況（令和2年3月31日時点）（資料6-2）
- ・【平成30（2018）年度～平成35（2023）年度】健康づくり関連事業・取組状況（参考資料）

②特定健診・がん検診の受診状況について

- ・特定健診受診率経年一覧（資料7-1）
- ・特定保健指導実施率経年一覧（資料7-2）
- ・特定健診・がん検診の受診状況について（資料7-3）

③自殺対策計画の進捗状況について

- ・平成31年度 ゲートキーパー研修実施状況（資料8）

4. 意見の取りまとめについて

ヘルスアップぷらん（古賀市健康増進計画（第二次）・古賀市食育推進計画）における、「古賀市健康チャレンジ10か条」の推進状況を確認いただき、下記のテーマについて、10か条の推進施策について意見を頂いた。

【ご意見を頂いたテーマ】

健康チャレンジ10か条の推進に向けて、認知度や実践度の低い、若い世代（40歳代以下）や男性が10か条を認知する・実践する効果的な方法や取組事例について

（市主催の取組、学校や市民団体が実施・協働する取組、または他市町村の成功事例など）

（各委員からのご意見）

方 法	内 容
健康講座	<ul style="list-style-type: none">○働く世代への転倒災害防止教室の展開○SNSを活用した健康教育の推進○企業とのコラボによるSNSを活用した講座（ポイント制・企業紹介も実施）○新型コロナウイルス感染症の重症化リスクである「生活習慣病」の予防活動として、「家族で取り組む10か条」とのタイトルで10箇条の大切さを小学生に解説する。⇒わが子から、親に対し「感染症に強い体になって」とお願いされると健康管理に意識が向くのではないか。○子どもを介した親の健康増進の取組はどうか。
イベント	<ul style="list-style-type: none">○古賀市民への10か条強化実施月間を設置し、企業・商店街・学校などとタイアップして周知する。（古賀市出身の著名人の協力のもと、周知してはどうか。）○会社、学校など組織を活用し、10か条の組織的で、ユニークで実践的に継続できる、継続できた取組を募集する。○10か条の活動実践報告会、優秀賞の表彰と広報等の周知○自治体と企業の協力事例について<ul style="list-style-type: none">・九州のとある県が主催する自治体と企業が協力した食に関する取組・その県が現状と課題を見出し、業者への働きかけを行うことでメニュー開発と周囲の企業への呼びかけで、利用促進を図っている。
人材育成	<ul style="list-style-type: none">○健康づくり推進員の取組を健康測定以外にも、これまで以上に若い世代への10か条の周知活動をするよう活動の幅を拡大する。○若い世代のうち、運動習慣があるなど健康意識の高い推進員のメンバーを増やすよう、メンバー増加に向け、取組を行う。

その他

○意見を聞いてもらいやすい、家族などから広報してもらってはどうか。

例) 子どもから父親へ

学校の家庭科の授業を活用し、第2条の「毎食野菜から食べよう」や第4条の「減塩！だしを活かしてうまみたっぷり」を教育し、父親への長生きについて子どもから働きかける。

例) 祖父母から孫へ、母親から息子へ

地域の活動を通じて、年配者だけでなく、孫や息子の世代への働きかけを依頼する。

○若い世代や男性は、市主催行事に参加できないので、子どもを持つ保護者であれば、10か条について、学校の掲示版、養護の先生の授業、担任の先生から説明があることで、子どもから保護者へ10か条が伝わるのではないか。

○10か条をプリントしたクリアファイルを作成し、学校に配布し先生から説明してもらおう。(クリアファイルは長く使用するから、長期間周知できないだろうか)